

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-147024

(43) 公開日 平成9年(1997)6月6日

(51) Int.Cl.⁶

G 0 6 F 19/00

識別記号

庁内整理番号

F I

G 0 6 F 15/28

技術表示箇所

A

審査請求 未請求 請求項の数25 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号

特願平7-300191

(22) 出願日

平成7年(1995)11月17日

(71) 出願人 594041195

新田 洋保

東京都品川区南大井6丁目24番14号

(71) 出願人 593059223

高橋 謙三

千葉県松戸市六高台9丁目149番地

(71) 出願人 594185271

野村 さち子

富山県魚津市立石112

(71) 出願人 595013210

三木 忠吉

長野県小県郡丸子町中丸子1023-5

(74) 代理人 弁理士 佐藤 一雄 (外3名)

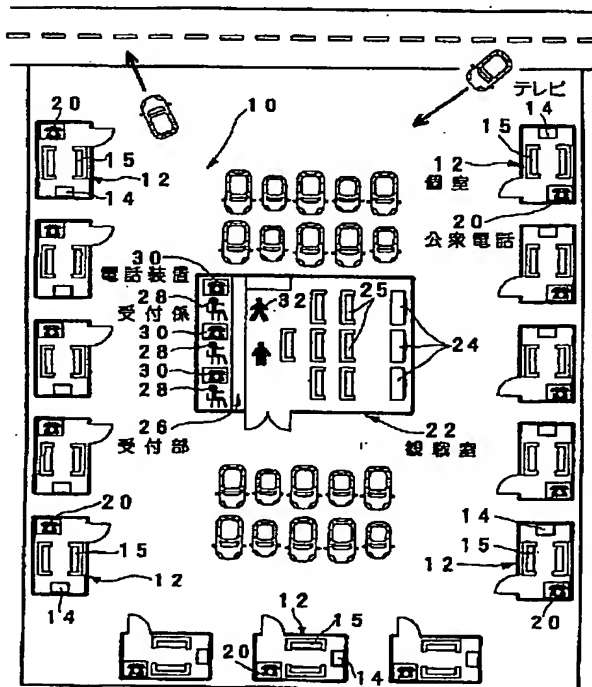
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 遠隔投票システム

(57) 【要約】

【課題】 レース場から遠隔地であっても、気軽に健全に低コストで、レースを楽しむことができるようにする。

【解決手段】 競輪、競馬、オートレース、競艇、サッカー、カーレース等の公営又は私営の各種競技についての各種データを送るデータ送信手段と、このデータ送信手段からの前記各種データを受信して、音、映像又は印刷物又はこれらのうちの任意のものの組み合わせによって投票希望者が把握可能な状態に上記各種データを表示する受信表示手段と、投票希望者が操作する端末で電話回線を通じて送られてくる投票内容データをデータ処理する投票データ処理を行い、投票に使われた賭け金をその投票希望者の預金口座から引き落とし、配当があるときには配当金をその口座に振り込む口座処理を行う、コンピュータ手段と、を備えたことを特徴とする、遠隔投票システム。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】競輪、競馬、オートレース、競艇、サッカー、カーレース等の公営又は私営の各種競技についての各種データを送るデータ送信手段と、

このデータ送信手段からの前記各種データを受信して、音、映像又は印刷物又はこれらのうちの任意のものの組み合わせによって投票希望者が把握可能な状態に上記各種データを表示する受信表示手段と、

投票希望者が操作する端末で電話回線を通じて送られてくる投票内容データをデータ処理する投票データ処理を行い、投票に使われた賭け金をその投票希望者の預金口座から引き落とし、配当があるときには配当金をその口座に振り込む口座処理を行う、コンピュータ手段と、を備えたことを特徴とする、遠隔投票システム。

【請求項2】前記受信表示手段は、カラオケハウス、パチンコ店、入浴施設、デパート、会員制クラブ、ゴルフ練習場、駐車場等の人が集まる施設との関連で設けられた少人数向けの個室と多人数向けの観戦室のうちの少なくとも1つに設けられている、請求項1の遠隔投票システム。

【請求項3】前記各種競技の映像及び音声を実況中継的に送受信するための送受信装置をさらに備え、その装置のうちの映像及び音声表示装置を前記個室又は前記観戦室に設けている、請求項2の遠隔投票システム。

【請求項4】前記送受信装置は、前記各種競技を撮影する撮影装置と、撮影したレース映像を送信する送信装置と、この送信装置からのレース映像を受信する受信装置と、この受信装置からのレース映像を表示する前記表示装置と、を備えるものである、請求項3の遠隔投票システム。

【請求項5】前記送受信装置は、電波を利用してレース映像を送受信するものである、請求項4の遠隔投票システム。

【請求項6】前記送信装置の電波の送受信に当っては、中継局として人工衛星に搭載した中継装置を利用するのである、請求項5の遠隔投票システム。

【請求項7】前記送受信装置は、ケーブルを利用してレース映像を送受信するものである、請求項4の遠隔投票システム。

【請求項8】前記表示装置としてCRT表示装置を用いた、請求項3～7の1つに記載の遠隔投票システム。

【請求項9】前記個室は複数設けられており、前記観戦室は少なくとも1つ設けられている、請求項1～7の1つに記載の遠隔投票システム。

【請求項10】前記観戦室には複数の前記表示装置が設けられており、各表示装置には各種競技のうちの任意のものが表示可能とされている、請求項3の遠隔投票システム。

【請求項11】前記コンピュータ手段は、ID付けされた各投票希望者からの、前記観戦室から電話回線を通じ

2

て送られる、投票内容データを処理し、その観戦室と関連付けされた代表預金口座において前記口座処理を行うものとして構成されている、請求項2～10の1つに記載の遠隔投票システム。

【請求項12】前記データ通信手段は、前記各種データとして、枠順、オッズ及び配当等の配当情報と、競技場の状態や騎手等の状態等の競技場情報を送信可能である、請求項1～11の1つに記載の遠隔投票システム。

【請求項13】前記端末として電話機を使用する請求項1～12の1つに記載の遠隔投票システム。

【請求項14】前記端末として専用の投票発券端末を有し、この投票発券端末は、投票に際してデータ入力するためのデータ入力手段と、投票についての賭金を支払うための賭金支払手段と、投票結果に応じた簡易投票券を振り出す発券手段と、を有するものとして構成され、前記コンピュータ手段は前記口座処理は行わず、前記投票データ処理を行うものとして構成されている、請求項1～13の1つに記載の遠隔投票システム。

【請求項15】前記データ入力手段は、タッチパネル式のCRTモニターである、請求項14に記載の遠隔投票システム。

【請求項16】前記データ入力手段は、タッチパネル式の液晶表示板である、請求項14に記載の遠隔投票システム。

【請求項17】前記賭金支払手段は、現金と、プリペイドカードと、IDカードのうちの少なくとも1つによって支払可能に構成されている、請求項14～16の1つに記載の遠隔投票システム。

【請求項18】前記プリペイドカードは、パチンコ等の他のプリペイドカードと兼用されるものである、請求項17に記載の遠隔投票システム。

【請求項19】前記IDカードと前記プリペイドカードの一方に他方の機能を兼持させた、請求項17又は18に記載の遠隔投票システム。

【請求項20】前記投票発券端末は、パチンコ等の1対の遊技具の間に設置されている、請求項14～19の1つに記載の遠隔投票システム。

【請求項21】前記簡易投票券は、磁気式、ICカード式、光学式、パンチ式あるいは印字式のいずれか又はこれらのうちの任意のものの組み合わせによってデータを格納しているものである、請求項14～20の1つに記載の遠隔投票システム。

【請求項22】前記簡易投票券を前記コンピュータ手段によって判別して、払戻金の支払いを行う払出機をさらに備える請求項14～21の1つに記載の遠隔投票システム。

【請求項23】前記払出機は、前記各種競技について発券された他の種類の投票券についても判別、支払いを行えるものとして構成されている、請求項22に記載の遠隔投票システム。

3

【請求項24】前記払出機は、前記簡易投票券としてデータ書き換え可能なものを用いている場合には、前記現金による支払いに替えて、支払い金額をデータとしてその簡易投票券に書き込む、請求項22又は23に記載の遠隔投票システム。

【請求項25】前記払出機は、前記簡易投票券としてIDカードを用いている場合には、前記現金による支払いに替えて、そのIDカードと関連する預金口座に払戻金を振り込む処理を前記コンピュータ手段に行わせる、請求項22～24の1つに記載の遠隔投票システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、遠隔地でも簡単に少ない元手で気軽に楽しむことができるレースの遠隔投票システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、競輪、競馬、オートレースや、競艇等の公営競技として、レースについて遠隔投票するには、それらのレースについての電話投票制度に加盟し、所定の指示に従って電話で賭けるものであった。また、遠隔地でレースを観戦するには、レース専門の放送受信契約を結び、自宅に受信施設を設けて観戦していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記のように従来は、レースを観戦するにはそのレース場に行くか専用のテレビ放送の受信契約をしなければならなかった。しかし、レース場は、比較的遠隔地にある場合が多い。そのため、そのレース場まで往復するのに多大の時間と費用がかかってしまうことが少なく、また、テレビ観戦するにも、専用の契約及び設備等に多くの費用がかかり、一般個人が気楽に楽しむことはできにくかった。加えて、家庭内でテレビ観戦しながら電話投票で賭けるというのは、未成年に対する教育的問題もあり、さらに気が引ける場合もあった。また、レース場以外の例えば場外馬券売り場等で馬券等を発売する場合、その発売地に交通渋滞や風紀の乱れが発生する等の種々の問題が生じていた。また、電話投票制度とレース映像の放送受信設備とを組み合わせようとしても、それらは互いに独立したシステムであり、観戦者自身が独自に両方を対応させなければならず、実際に困難であった。つまり、上記専用テレビ放送のあるレース観戦会場において、レース観戦と投票とを組み合わせたシステムを実現しようとしても、観戦に使われる専用のテレビ放送の送信回線投票に使用される電話回線は互いに全く別のものであり、互いの関連づけが難しく、さらにもしこれらを関連づけようとしても一般投票者の識別の問題もあり、よって両者が一体化したシステムを既存のものを用いて作るのは實際上著しく困難であった。

【0004】この発明は、上記従来の問題点に鑑みてなされたものであり、その目的は、例えば競馬等の公営競

4

技のレース場からの遠隔地にあっても、気軽に且つ低コストでレースを観戦できると共に投票できるようにすることにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明の遠隔投票システムは、競輪、競馬、オートレース、競艇、サッカー、カーレース等の公営又は私営の各種競技についての各種データを送るデータ送信手段と、このデータ送信手段からの前記各種データを受信して、音、映像又は印刷物又はこれらのうちの任意のものの組み合わせによって投票希望者が把握可能な状態に上記各種データを表示する受信表示手段と、投票希望者が操作する端末で電話回線を通じて送られてくる投票内容データをデータ処理する投票データ処理を行い、投票に使われた賭け金をその投票希望者の預金口座から引き落とし、配当があるときには配当金をその口座に振り込む口座処理を行う、コンピュータ手段と、を備えるものとして構成される。

【0006】

【発明の実施の形態】以下、この発明の一実施例について説明する。図1は本発明の一適用例を示し、図中10は一般的概念における広めの駐車場を示し、その周囲に、少人数のグループを収容することができる観戦室としての個室12が設置されている。各個室12内には、各々テレビ14が取り付けられている。図2からわかるように、そのテレビ14にレース専用放送を受信する受信装置である専用チューナ16及びアンテナ18が接続されている。レース専用放送は、図示の如くの地上局又は放送衛星からの電波を用いた無線送信の他、光ファイバー等のケーブルを用いた有線放送でもよい。さらに、図1に示すように、各個室12内には、観戦用のソファ15と、公衆電話20が設けられ、これらは個室12の利用者が自由に使用可能となっている。ここで、上記レース専用放送でテレビ放送されるレースは、競輪、競馬、オートレース又は競艇等の公営競技等であり、これらのいずれかを個室12内で選択的に見ることができる。また、この個室12内には、カラオケ設備やその他の娯楽設備を設けることもできる。

【0007】図6は上記の一例を示すものである。即ち、例えば公営の競技場61からの映像は、ケーブル62により又は電波63と衛星放送機器64により、いわゆるワイドテレビ65又は一般のテレビ66に映し出され、顧客67に伝えられる。この顧客67と競技場61との間には別ルートとしてのデータルートが形成されている。即ち、競技場61からの各種のデータがコンピュータ69を介して情報、加工データ70として顧客67に伝えられる。このとき、予想メディア71からのデータもコンピュータ69を介して顧客に伝えられる。逆に、顧客67の投票に関するデータもコンピュータ69に送られ、そこで各種の情報処理が行われ、その処理結果もコンピュータ69から顧客に伝達可能とされている。

る。

【0008】再び図1に戻って説明するに、駐車場10の中央部に、比較的大きな観戦会場としての観戦室22が設置されている。観戦室22内には、例えば大型テレビ24と観戦用のソファ25が設置されている。各大型テレビ24に、各々異なるレース場のレースを上映させることもできる。また、この観戦室22内には、受付部26が設けられ、受付係28が待機している。さらに受付部26内には、競輪、競馬、オートレース、競艇等の各種公営競技に対して電話投票するための専用の又は汎用の電話装置30が設置されている。そして、観戦者32からの要望に応じて、受付係28が、観戦者32に代理して所定の電話投票を行う。

【0009】このような電話投票は、現行の電話投票制度のもとにおいて既に電話投票権を有するとされた者のほか、現在はまだ有していない者であっても、一定の条件を満たす者として行うことができる。なお、上記個室12及び観戦室22は、他の施設と無関係に独立的に設けることもできるが、他の施設、例えば、カラオケハウス、パチンコ店、サウナ・浴場等の入浴施設、デパート、サロン、各種会員制クラブ、ゴルフ練習場等の施設に併設することもできる。

【0010】このような個室12や観戦室22をカラオケハウスやパチンコ店等に併設又はそれらの店の管理のもとに設ける場合の一例を図7に示す。ここでは、ボート、競馬、自転車及びオートバイの公営競技80について観戦、投票する場合について示している。これらの競技について観戦、投票するための施設を設ける権限をある1人又は1つの団体（ここではスポーツシアター組合81）に委ねる。そして、この組合81は、業種毎の各種の管理組織82（ここではカラオケ協会、パチンコ協会他）に対して、上記個室や観戦室の設置を許可する権限を与える。これらの各組織82は、自己に加入しているサウナやデパート等の個別の設置箇所（スポーツパレス）83に対して観戦室等の設置を許可する。この場合において、カラオケハウスやパチンコ店のように数が多いときには、その組織82、例えばカラオケ協会のもとに複数の支部84を作り、その支部84が自己に加入しているカラオケハウスに設置の許可を与える形とすることもできる。従って、顧客は、例えば、カラオケハウスに入店し、ある競技を観戦、投票することになる。

【0011】本発明の一実施例としてのレースの遠隔投票システムが図3に示される。ここでは、個人で電話投票権を有する観戦者32aによる投票と、有しない観戦者32bによる受付部26を介しての投票のいずれの投票も可能とした例を示している。

【0012】レース場40に撮影装置であるテレビカメラ42が設置され、その映像は、リアルタイムで送信機44及びアンテナ44Aを介して、全国または特定の地域に送信される。また、これらのレースの運営は、主催

者である協会46が行い、レースの収益及び配当の管理を行っている。また協会46におけるコンピュータは、電話投票権を有している人の個人口座48aとオンラインで結ばれており、賭け金及び配当の引き落とし及び振り込みをオンラインで処理可能となっている。さらに、上述のように、電話投票権を有しない人も、これらの人によって共用される代表口座48を有する受付部26を介して、電話投票可能としている。また、レース映像を伝送する手段と、電話投票のための電話回線及び賭け金の口座処理手段とは、上記レースの主権者側でリンクされると共にレースの観戦会場側でもリンクされている。これにより、観戦レースの選択や、投票、賭け金処理を、観戦会場で簡単に行うことができ、レースの主権者側でも電話投票者の管理を電話回線を介した通信手段により行うことができる。

【0013】上述のようなシステムにおいて、電話投票権を有している人は、例えば個室12に入って、先ず、好みのレースをテレビ14に映し出す。これと並行して、次のレースについての所望の投票を公衆電話20を用いて行うことができる。また観戦室22でテレビ24を観戦しながら電話投票を行っても良い。そして、図3に示すように、そのレースの賭け金は、その人の個人口座48aからレースの主権者の協会46側へ引き落とされ、もし配当があるときには配当金は逆に協会46から個人口座48aに振り込まれる。なお、上述の電話投票制度は、競馬等において法律上許された公知の制度である。

【0014】また、電話投票制度に加入していない個人の場合には、例えば、以下のようにして投票させるようにする。先ず、その個人が観戦室22内で、受付部26の受付係28に、自己の個人口座を示して、電話投票制度への加入手続を依頼する。受付係28によって加入手続が済んだ後は、上記の個人で電話投票制度に加入している人と同様に投票することができる。または、複数の観戦者32を、その受付部26が持っている一つの代表口座48を共用する形で電話投票制度に加入させる。そして、実際の投票に当っては、各々個別に受付係28を通して電話投票させる。この場合、図4からわかるように、各観戦者32を区別するためにそれぞれIDを付し、それを表わすIDカード34を受付係28が発行する。そして、上記受付係28に投票を依頼することができるのはその観戦室22に入ることができるIDカードを有した会員のみとする。このIDカード34に賭け金のプリペイドカード機能を持たせることもできる。

【0015】このように、複数人が1つの口座（代表口座）を使用する場合において投票するには、受付部26の受付係28に現金、プリペイドカード、プリペイドカードを兼ねるIDカード等によって賭け金を支払う。その賭け金は代表口座48から協会46に支払われる。そして、配当ありの場合には、協会46から受付部26の

代表口座48に配当が振り込まれる。その配当は受付部26から各IDカード34を有した観戦者32に支払われる。その支払いは現金で行われる。または、プリペイドカードの残高に配当金が加算されるかたちに記憶内容が更新される。このIDカード34は、データの記憶、書き換え等の機能を有する、磁気カードやICカード、光記録カードにしてもよい。それにより、各観戦者の賭けの内容や、それに対する配当金等が正確に記録され、正確な処理が可能となる。

【0016】電話投票制度を利用する場合は、それによる配当を、現金に代えて景品で行うことができる。さらに、図5の如く、例えば身体障害者組織等による第三者機関50を介して、景品を現金に替えるシステムとしても良い。即ち、図5の右端のIDカード34(A)に着目して説明するに、IDカード34(A)に基づいて投票する()。適中した場合には受付部26から配当が景品の形で支払われる()。この景品は第三者機関に持ち込まれ()、換金される()。その換金に使用された景品は、さらに受付部26に戻され()、現金が第三者機関50に支払われる。

【0017】このように、配当を景品で行うようにすることにより、純粋に景品を楽しむというシステムに置き換えることもできる。配当の授受に対して、第三者を介させることにより、公正さを維持することもできる。また、配当の仕組みは、このシステムの運営者側で任意に置き換えることもできる。さらに、これらの運営方法は適宜設定変更可能である。

【0018】また、この発明を、既存の例えば場外馬券売り場等の、レース場以外での賭け券売り場としての性格を持たせることも可能である。従って、その利用者は、自由に馬券等を購入し、配当を受け取ることができる。さらに、その観戦施設をより高品位のものにするために、利用に際しては電話等による予約制としたり、住民票や自動車運転免許証等により身元を確認して未成年等の入会を禁止したり、さらに、会員資格を厳しくしたりすることも可能である。そして、その観戦会場への入場を有料とすることもできる。これにより、従来の場外馬券売り場等の交通上の問題点や風紀上の問題点も解決される。

【0019】尚、上述のように、この発明は、カラオケボックス以外に、デパートやショッピングセンター、パチンコ店、各種サロン、ゴルフ練習場、その他の娯楽施設の内部で実施したり、会員制の各種クラブ等に併設した施設で実施したり、それらとは無関係の単独の施設で実施しても良い。また、個室式の娯楽施設を持ったサウナを会場として運営してもよく、その運営主体は任意に選択可能である。また、遠隔投票手段は、任意の電話回線又は通信手段を使用することが可能であり、既存の設備にとらわれないものである。また、上映装置や受信装置は、地上波以外に衛星放送や光ファイバーケーブル、

又は他の有線放送を利用したものでも良い。また、放送手段と、電話回線による賭け金処理等を、一つの光ファイバーケーブルによる双方向データ通信により行うようにしても良く、特に、パソコン通信により、映像受信と投票及び賭け金処理が、大容量通信可能な光ファイバーケーブルによる双方向通信でなされるようにしても良い。

【0020】本発明の実施の形態は種々考えられるが、図7との関連付けで説明すれば、機構全体の業務情報の経路としてのコンピュータシステムの主な部分が例えば図8に示される。このシステムは、先にも述べたように、公営競技に対して場外で顧客が投票を行えるようにするためのものであり、現在行われている例えば競馬の電話投票制度等に比して、顧客が簡単、容易に場外から投票を行えるように構成される。さらに、このシステムは、投票に際しての顧客に対する情報提供や配当による金銭管理が確実に行えると共に、投票管理がスムーズに行え、さらに厳重な時間管理も可能なものとして構成される。このようなシステムにおいて顧客に対して提供すべき情報としては種々のものが考えられる。例えば、競技別の情報としては、レースの種類別、開催地別の開催情報として、開催予定、開催地のレース結果と配当等を常時提供し、当日のレース内容情報として、出走情報、オッズ、戦績、前日のレース結果、実況及びその他の情報を提供するようにする。

【0021】図8は、投票端末で賭金の支払いと配当の払戻しをすると共に、簡易投票券を発券する例を示している。

【0022】図8からわかるように、公営競技場80からの映像情報のほか全体的なおッズや配当等が組合(スポーツアター組合)81、協会(カラオケ協会等)82及びスポーツパレス(カラオケハウス等)83に伝えられる。各スポーツパレス83には端末90が設けられており、そこにおいて、顧客に対して映像が示されるほか、簡易投票券の発券、データの集約、加工、加工データの表示、支払等が行われる。加工データのほかこれらのデータはスポーツパレス83、協会82及び組合81に伝えられる。また、端末90とスポーツパレス83との間で各種データの照合と計数のデータがやりとりされ且つ簡易投票券及び本来の投票券の購入費自体も、スポーツパレスから協会、組合及び公営競技場に伝えられる。

【0023】発券、払出及び業務全体についての系統に着目してコンピュータシステムを説明すれば図9の如くなる。図9からわかるように、公営競技(場)80と組合81にパレス83からの購入情報が伝えられる。公営競技(場)80からは投票券及び簡易投票券の全ての投票券に基づく配当情報が組合81とパレス83に伝えられる。組合81からは加工データがパレス83と端末90に伝えられる。而して、公営競技場(におけるコン

ピュータ) 80は、枠順、オッズ、配当、購入量及び損益管理等のデータを扱う。組合(におけるコンピュータ) 81は、購入量、払出量、損益管理、加工データ等のデータを扱う。パレス(におけるコンピュータ) 83は、購入量、払出量、損益管理、加工データ、照合等のデータを扱う。

【0024】簡易投票券の発券及び全投票券(簡易投票券及びいわゆる本来の投票券)の払出機器としては各種のものが考えられるが、その一例を図10(A)、

(B)に示す。図10(A)は、専用サロン等に設置して好適な投票専用ボックスを示す。このボックスはいわゆるワイドテレビジョン形のCRTモニター100を備えており、これは例えば銀行のキャッシュディスペンサーのようにタッチパネル式のものとして機能するように構成されている。このボックスはIDカード挿入口101、プリペイカード挿入口102、現金(コイン、紙幣)挿入口103、104を有している。IDカードにプリペイカードの機能を備えさせることができるのは先述の通りである。これらを入れた後、CRTモニター100に表示される指示に従ってデータをタッチ入力することにより、発券口105より簡易投票券(記録紙)が発行される。この投票券としては種々のものが考えられるが、磁気記録式、パンチ式、印字式、ICメモ리카ード式、その他の方式、あるいはこれらを組み合わせた方式とすることができる。この簡易投票券に持たせるデータとしては、店別シリアル番号、日付(西暦〇年〇月〇日〇時〇分)、レース名、レース番号、投票内容(例、1-4、〇円)、単/複等のデータが考えられる。これらのデータは視覚で確認できると共にコンピュータでのデータ処理に適した形で簡易投票券に持たせる必要がある。図10(B)は簡易投票機の一例を示し、1対のパチンコ等のゲーム機110、110の間に設けた例を示す。図10(B)中の図10(A)と同一符号のものは同等のものを示す。

【0025】払出機としても各種のものが考えられるが、図11にその一例を示す。この払出機はまさに銀行のキャッシュディスペンサーに準じたものとして構成される。まず、簡易投票券(記録紙)を記録した挿入口130から挿入し、又は本来の投票券を投票券読取口131から挿入する。この後、照合確認ボタン132を押すとそれらのいずれかの投票券の内容がタッチパネル式のCRTモニター133に表示される。即ち、照合・確認ボタン132を押すことにより、レース名(例：有馬記念)、レース番号(例：第4レース)、投票券の種類(例：車券、馬券等)、単/複の区別、購入枚数、配当率、当り/はずれ等のデータが換金照合内容データとして照合される。換金可能な投票券の場合には換金ボタン134を押すことにより、現金が紙幣/コインの戻し口135、136から戻される。取消しボタン137を押せば、投票券の種類に拘らず、入れた記録紙挿入口13

0又は投票券読取口131からそのまま戻ってくる。

【0026】本発明の実施例としてのシステムについては以上の説明でわかったと思うが、さらに見方を変えて本システムの一部を変形した例について、多少の重複を許容しつつ、さらに以下に説明する。

【0027】端末での投票に当っては、以下のようにすることができる。

(1) 簡易投票する場合、第三者を介在させないようにする。さらに、第三者に購入を委託してはならない。

(2) 当たり券(簡易投票券)についての有効期間を明確にする。

(3) 高額配当を得た場合の安全性を考慮し、防犯の観点から払戻しは競技場や既設の場外発券所で行うようにする。

(4) 簡易投票券の不正防止、例えばコピー等ができないようにする。

(5) テレビ画面を見ながらの投票なので、結果が出てからの投票を無効にする為(不正防止)、時間管理を厳重にする。

(6) レースの種類別に管理を行う。つまり競馬、競輪、ボート、オートレース等毎に管理を行う。

【0028】実施を具体的に行うに当っては以下の如くとする。

(i) 簡易投票の仕方について

限度額を定め、一定金額以下の投票の場合は現金またはプリペイカードで行える様にする。

一定額以上のときは、現金またはIDカードで行える様にし、投票は専用サロン等にて行う。

基本的には投票専用機にて券を購入するが、遊戯場等の施設の場合、遊戯機等と併設した簡易型投票機にても行える様にする。

・例えば、パチンコ店の場合、既にプリペイカードで玉の購入ができるようにしているので、このことに着目し、玉の購入と簡易投票券購入を併用できる様にする。

・投票機としては、TV、簡易投票券(例えば磁気カード式)発行機、表示器(TVと兼用でも可)、10キー、コイン処理機、その他を備えるものとすることができる。

・発券内容としてのデータは、店別シリアル番号、日付(西暦〇年〇月〇日〇時〇分)、レース名及びレース番号、券の種類(馬券、車券)、投票の種類(単/複)が考えられる。

レース当日だけでなく、例えば別途設置した発券機により、レースの数日前から購入可能とする。

【0029】(2) 支払い(換金)方法について

現金支払機を個室に設け、全投票券を挿入することによりその配当金を表示し、確認後現金の払戻しする。

このとき確認するデータは、例えば、

・レース名(例：有馬記念)

・レース番号(第〇レース)

- ・馬券(車券)／単、複
- ・購入金額＋配当率＝配当金額
- ・当たり／外れ

等とする。ただし、払戻金が一定金額以上のときには、防犯の観点から銀行口座への振り込み入金とし、現金の支払いはいしない。

パチンコ店の場合は配当金を景品で支払い、景品交換所にて現金化することもできる。

券に有効期間を決め、例えば〇日とすることもできる。

【0030】(3) 不正防止について

簡易投票券はコピーを防止する為、例えば磁気紙を利用することもできる。

入力した投票内容と異なる簡易投票券が出たと主張者に対向できるように、シリアル番号にて、常時コンピュータの内容と照合可能とする。

ノミ行為を生じさせないように、システムを厳重管理する。

【0031】(4) データベースに関して

1日の集計

- ・1人ごとの簡易投票内容を記録し、1日の締め時に当たり券のみのデータを有効期間内保存する。
- ・各レースごとに、開催地も含め、データを集計する。
- ・例えば発券数
- ・売上げ
- ・払い戻し総額
- ・適中率(宝くじと同様に評判となり得る)

目次、年次ファイル

- ・協会で集計できる様に必要なデータは保存する。容量も考慮し、月ごとに例えばディスクに保存する。

【0032】(5) その他

予想データの提供については有料とし、予想屋については、別途基準を定める。

レース結果の問い合わせについては有料とし、NTTと提携の上、サービスを行う。

・なお、駅前等の繁華街や幹線道路に於ける標識でのレース案内や結果については無料とする。つまり、標識の設置費用は収益金の中から捻出する。

【0033】以上のシステムの更に一部を変形した例を以下に説明する。

1. 例えば、パチンコ店に設けた端末から簡易投票するに当っては、次のようにする。

(1) 端末を設けることができるパチンコ店はスポーツシアター組合に加入している店のみとする。

(2) プリペイカードにて簡易投票可能とする。審査基準を満たした人にのみ発行したIDカードによっても簡易投票可能とする。

- ・一定額以下の配当金は景品で支払う。
- ・例えばパチンコをしながらかもできるようにする。又は、店の一隅に専用サロンを設ける。

- ・買った簡易券は取り消し不能とする。
- ・簡易投票券の発券は記録紙(購入レシート)にて行い、その記録紙で内容確認可能とする。

【0034】(3) 人を介在させないために集中管理投票ボックスを設けることもできる。

・この際、簡易投票の金額は一定額を限度とし、それを超える投票についてはそのボックスからではなく、電話投票またはIDカードによるものとする。

【0035】(4) パチンコ台中に組み込んだモニター10で個別に投票可能とすることもできる。

・プリペイカードはパチンコの玉の購入と投票券購入を兼用可能とする。2台のパチンコ台の間に、TV、プリンター、表示器、10キー、カード読取器、コイン処理器等の装置を設置することもできる。

【0036】2. 簡易投票についての配当の通知及び支払い方法に関して

(1) 配当の通知

・配当はTV画面で勿論判るようにすると共に、個別の賭け金と配当につきプリペイカードでもわかるようにする。20

・新たに別の記録紙を打ち出して、その記録紙によってわかるようにする。

【0037】(2) 支払方法

・配当金については一定金額(例えば10万円)を限度とし、プリペイカードを示して配当金を景品にて持ち出し、景品交換所にて現金化することもできる。

・現金支払機の場合、防犯上問題に留意して適当な方法を考える。

・配当金の銀行振込みは手数料含め困難であるため、できれば他の方法を考える。30

【0038】本発明の実施の形態は上記のほか種々考えられるが、例えば以下のものも考えられる。

1. 競輪、競馬、オートレース、競艇、サッカー、カーレース等の公営又は私営の各種競技についての各種データを送るデータ送信手段と、このデータ送信手段からの前記各種データを受信して、音、映像又は印刷物又はこれらのうちの任意のもの組み合わせによって投票希望者が把握可能な状態に上記各種データを表示する受信表示手段と、投票希望者が操作する端末で電話回線を通じて送られてくる投票内容データをデータ処理し、投票に使われた賭け金をその投票希望者の預金口座から引き落とし、配当があるときには配当金をその口座に振り込む口座処理を行う、コンピュータ手段と、を備えたことを特徴とする、遠隔投票システム。

2. 前記受信表示手段は、カラオケハウス、パチンコ店、入浴施設、デパート、会員制クラブ、ゴルフ練習場、駐車場等の人が集まる施設との関連で設けられた少人数向けの個室と多人数向けの観戦室のうちの少なくとも1つに設けられている、上記1の遠隔投票システム。

3. 前記各種競技の映像及び音声を実況中継的に送受50

信するための送受信装置をさらに備え、その装置のうちの映像及び音声表示装置を前記個室又は前記観戦室に設けている、上記2の遠隔投票システム。

4. 前記送受信装置は、前記各種競技を撮影する撮影装置と、撮影したレース映像を送信する送信装置と、この送信装置からのレース映像を受信する受信装置と、この受信装置からのレース映像を表示する前記表示装置と、を備えるものである、上記3の遠隔投票システム。

5. 前記送受信装置は、電波を利用してレース映像を送受信するものである、上記4の遠隔投票システム。

6. 前記送信装置の電波の送受信に当っては、中継局として人工衛星に搭載した中継装置を利用するものである、上記5の遠隔投票システム。

7. 前記送受信装置は、ケーブルを利用してレース映像を送受信するものである、上記4の遠隔投票システム。

8. 前記表示装置としてCRT表示装置を用いた、上記3～7の1つに記載の遠隔投票システム。

9. 前記個室は複数設けられており、前記観戦室は少なくとも1つ設けられている、上記1～7の1つに記載の遠隔投票システム。

10. 前記観戦室には複数の前記表示装置が設けられており、各表示装置には各種競技のうちの任意のものが表示可能とされている、上記3の遠隔投票システム。

11. 前記コンピュータ手段は、ID付けされた各投票希望者からの、前記観戦室から電話回線を通じて送られる、投票内容データを処理し、その観戦室と関連付けされた代表預金口座において前記口座処理を行うものとして構成されている、上記2～10の1つに記載の遠隔投票システム。

12. 前記データ通信手段は、前記各種データとして、枠順、オッズ及び配当等の配当情報と、競技場の状態や騎手等の状態等の競技場情報を送信可能である、上記1～11の1つに記載の遠隔投票システム。

13. 前記端末として電話機を使用する上記1～12の1つに記載の遠隔投票システム。

14. 前記端末として馬用の投票発券端末を有し、この投票発券端末は、投票に際してデータ入力するためのデータ入力手段と、投票についての賭金を支払うための賭金支払手段と、投票結果に応じた簡易投票券を振り出す発券手段と、を有するものとして構成され、前記コンピュータ手段は前記口座処理は行わず、前記投票データ処理を行うものとして構成されている、上記1～13の1つに記載の遠隔投票システム。

15. 前記データ入力手段は、タッチパネル式のCRTモニターである、上記14に記載の遠隔投票システム。

16. 前記データ入力手段は、タッチパネル式の液晶表示板である、上記14に記載の遠隔投票システム。

17. 前記賭金支払手段は、現金と、プリペイドカー

ドと、IDカードのうちの少なくとも1つによって支払可能に構成されている、上記14～16の1つに記載の遠隔投票システム。

18. 前記プリペイドカードは、パチンコ等の他のプリペイドカードと兼用されるものである、上記17に記載の遠隔投票システム。

19. 前記IDカードと前記プリペイドカードの一方に他方の機能を兼持させた、上記17又は18に記載の遠隔投票システム。

20. 前記投票発券端末は、パチンコ等の1つの遊技具の間に設置されている、上記14～19の1つに記載の遠隔投票システム。

21. 前記簡易投票券は、磁気式、ICカード式、光学式、パチンコ式あるいは印字式のいずれか又はこれらのうちの任意のものの組み合わせによってデータを格納しているものである、上記14～20の1つに記載の遠隔投票システム。

22. 前記簡易投票券を前記コンピュータ手段によって判別して、払戻金の支払いを行う払出機をさらに備える上記14～21の1つに記載の遠隔投票システム。

23. 前記払出機は、前記各種競技について発券された他の種類の投票券についても判別、支払いを行えるものとして構成されている、上記22に記載の遠隔投票システム。

24. 前記払出機は、前記簡易投票券としてデータ書き換え可能なものを用いている場合には、前記現金による支払いに替えて、支払い金額をデータとしてその簡易投票券に書き込む、上記22又は23に記載の遠隔投票システム。

25. 前記払出機は、前記簡易投票券としてIDカードを用いている場合には、前記現金による支払いに替えて、そのIDカードと関連する預金口座に払戻金を振り込む処理を前記コンピュータ手段に行わせる、上記22～24の1つに記載の遠隔投票システム。

【0039】

【発明の効果】本発明によれば、公営又は私営の各種競技についての各種データを送信し、受信し、投票希望者がそれらのデータを把握可能としたので、投票希望者はそれらのデータを把握した上で端末により投票でき、これに伴う賭け金の徴集と配当の払戻しは、預金口座で又は現金やプリペイドカード等の各種の手段において容易に行うことができ、しかも競技場の様子や競技の実況も映像や音でリアルタイムで把握でき、よって競技場からたとえ遠く離れたところにおいても容易に投票に参加することができ、例えば投票や払戻しの端末をデパートやパチンコ店等の他の目的のものと人に集まるところに設ければ、他の用事を行なうついでに投票も容易に行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施例のレースの遠隔投票システ

15

ムにおける受信・端末側としての設備を示す概略説明図である。

【図 2】この実施例のレースの遠隔投票システムの受信・端末側を示すブロック図である。

【図 3】この実施例のレースの遠隔投票システムの全体を示すブロック図である。

【図 4】この実施例のレースの遠隔投票システムの賭け金等の流れの一例を示すブロック図である。

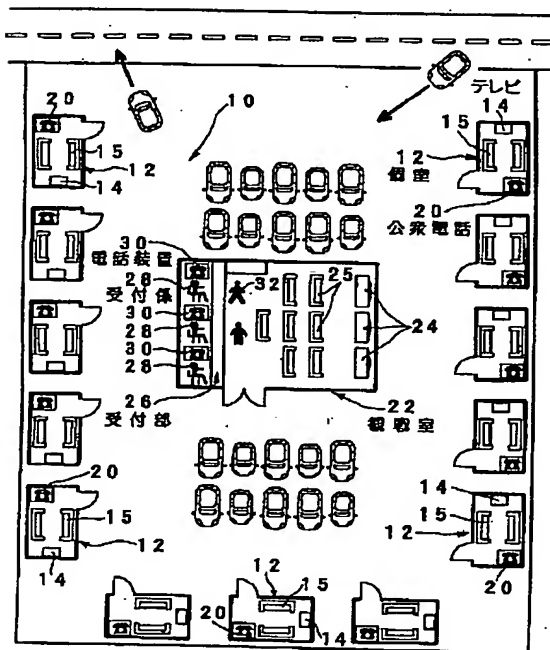
【図 5】この実施例のレースの遠隔投票システムの他の賭け金等の流れを示すブロック図である。

【図 6】本発明のある実施例の全体構成図である。

【図 7】本発明の実施例を実施するための全体組織図である。

【図 8】本発明のある実施例における業務情報の経路を示す全体的説明図である。

【図 1】



16

【図 9】本発明のある実施例における発券・払出・業務系統図である。

【図 10】本発明のある実施例における発券・払出機器の一例を示す説明図である。

【図 11】本発明のある実施例における払出機の一例を示す説明図である。

【符号の説明】

10 駐車場

12 個室

14, 24 テレビ

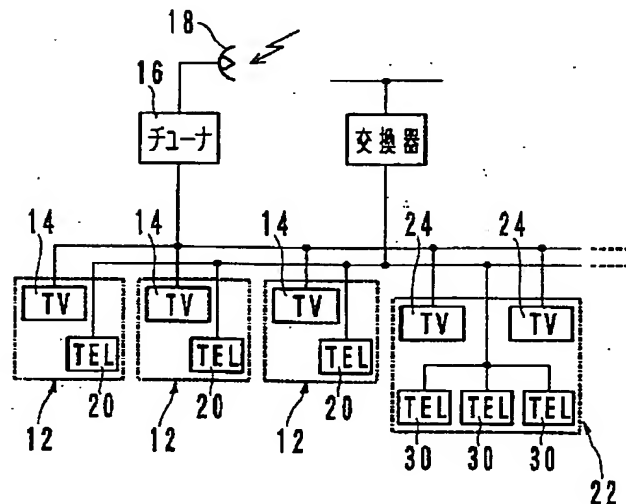
20 公衆電話

26 受付部

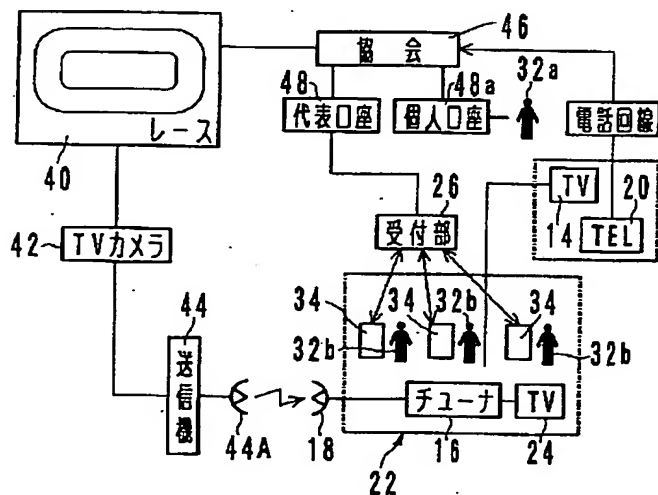
30 電話装置

34 IDカード

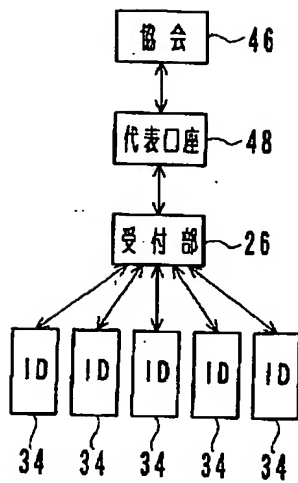
【図 2】



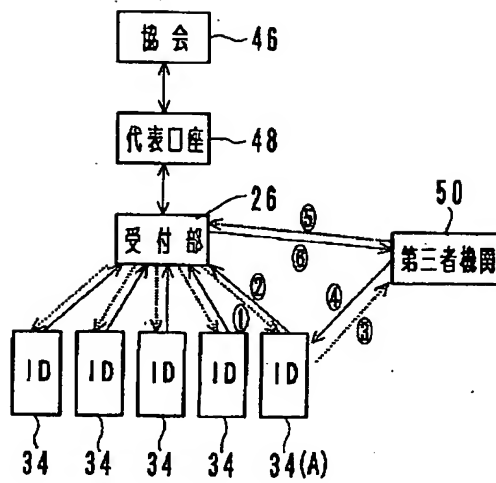
【図 3】



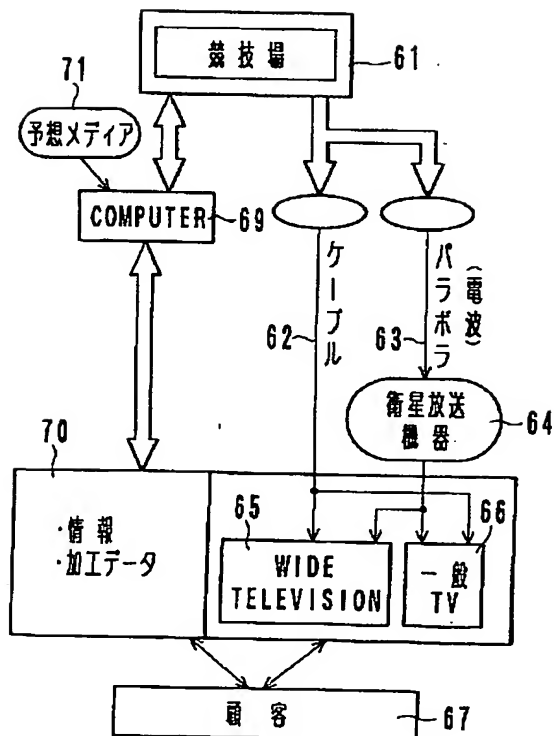
【図4】



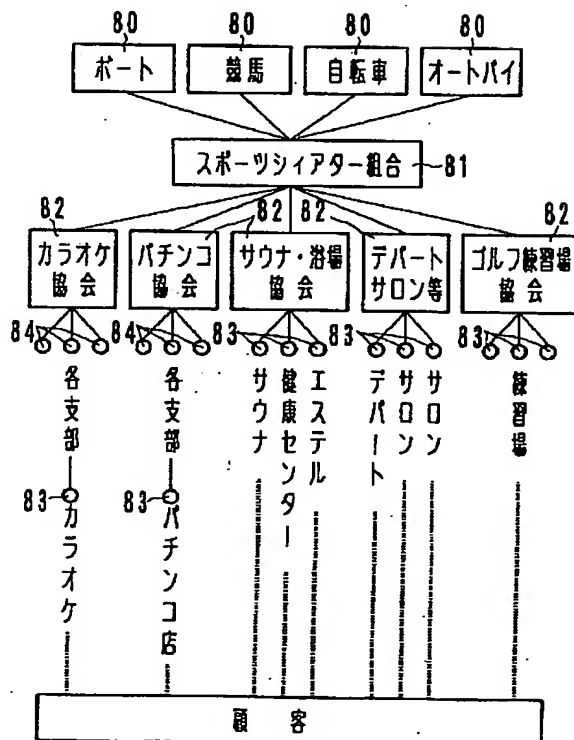
【図5】



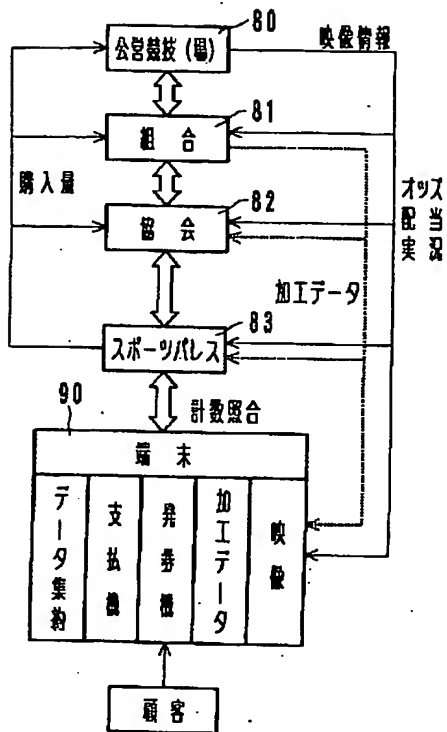
【図6】



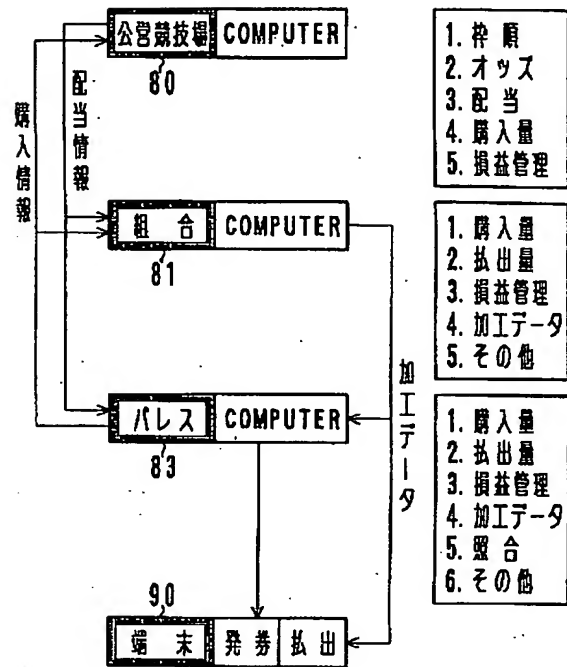
【図7】



【図8】

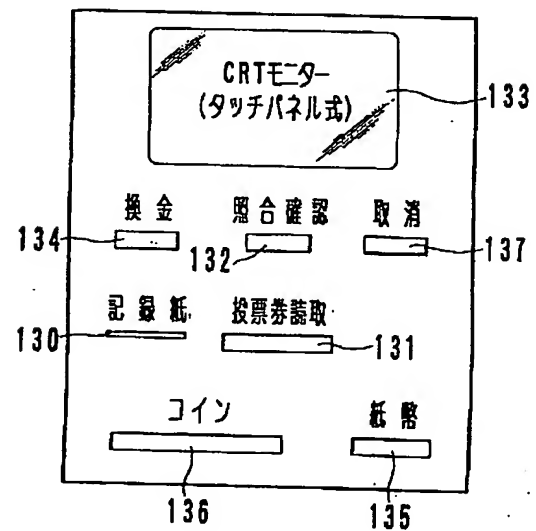
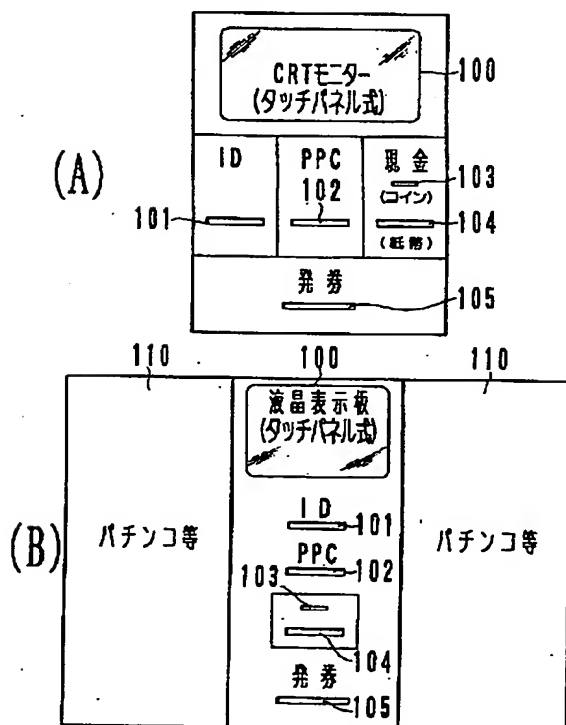


【図9】



【図11】

【図10】



フロントページの続き

(72)発明者 新 田 洋 保
東京都品川区南大井 6 丁目 24 番 14 号
(72)発明者 高 橋 謙 三
千葉県松戸市六高台 9 丁目 149 番地

(72)発明者 野 村 さち子
富山県魚津市立石 112
(72)発明者 三 木 忠 吉
長野県小県郡丸子町中丸子 1023 - 5